

子供の脳腫瘍の治療

こじま脳神経外科・内科クリニック
236-0042 横浜市金沢区釜利谷東6-21-1
電話 045-791-3177

Q8. 15歳未満の子ですが別の病気で偶然MRI検査にて脳腫瘍が発見されました。無症状のため経過を見ていたところ腫瘍が大きくなりました。治療はどうですか。

A8. MRIでは腫瘍が右頭頂葉にあり運動領域に一致しています。腫瘍の大きさは2.5cmでのう胞の一部造影される腫瘍の本体があります。アイソトープのタリウム検査で腫瘍部分が陽性なことより悪性の可能性もあり手術をお勧めします。

手術後、腫瘍の悪性度によっては放射線治療、化学療法を追加する必要があるため病院は手術だけでなく後の治療を含めて考えるべきでしょう。

手術は年齢が若いことより多少麻痺が残っても回復する可能性が高いためできるだけ腫瘍を切除するほうが良いと思います。運動野に腫瘍があるため手術ではニューロナビゲーターや蛍光色素を用いる手術法、覚醒手術などでできるだけ正常の脳を傷つけない方が良いと思います。正常な脳を残して腫瘍をできるだけ多く切除するためにはやはり手術の経験が重要になってきます。

よく主治医に相談することをお勧めします。

